

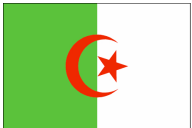

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

26 November, 2008



IN THE HEADLINES

 <p>タイ</p> <p>第3四半期の実質GDP成長率は、前年同期比で第2四半期の5.3%から4%へ低下したが依然として堅調である。タイは他の輸出依存型のアジア諸国と同様に、世界的な景気後退の圧力を受けており、第4四半期には急激な景気後退が予測され、2009年の年間成長率は2-3%に留まるであろう。また、世界的な危機の影響は、政治不安が増すにつれ、悪化すると思われる。8月に始まった民主主義市民連合(PAD)の反政府活動は、政府を支持するグループとの激しく衝突し、階級闘争の様相を帯びつつある。PADの最近の動きとして、バンコクの主な玄関口である空港を閉鎖したことは、観光業界にとって脅威的な出来事となっている。</p>	 <p>トルコ</p> <p>政府は、IMF による金融の監視を避けるために、新たな支援を求めないことを5月に決定したが、世界的な信用危機と景気後退による経済的圧力が高まる中、この姿勢を覆した。しかし、新たな IMF 支援に関する 2 週間にわたる協議にも関わらず、資金調達の構造、条件、および金額に関する見解の違いが続いており合意には至っていない。新たな取決めは、トルコが 2009 年に必要とする最低限の外国融資を確保するために不可欠であり、取り決めに至らない場合、通貨危機と急激な景気後退に見舞われる可能性がある。</p>
 <p>ベネズエラ</p> <p>先週末に行われた地方選挙で、ウゴ・チャベス大統領が率いる与党は、17州の知事選を含め、ほとんどの議席を勝ち取ったが、カラカス(市長)および第2位の人口を誇るミランダ州など、いくつかの主要な州および地方自治体で議席を失った。大統領の出身であるバリナス州の議席は維持することができた。高い投票率で野党が議席を伸ばしたことは、かつてほど圧倒的な政府の支持が得られていないことを示している。しかしながらも勢力を失っているわけではなく、世論調査によると過半数がチャベス大統領を支持している。また、野党は、政府機関における政府の優位な地位に立ち向かうには比較的弱いままである。しかし、原油価格の急落により、政府の持久力が試されることになるであろう。</p>	 <p>アラブ首長国連邦</p> <p>UAE は、膨大な金融資産と原油・ガスの埋蔵量を保有しているにも関わらず、世界的な信用収縮の影響を避けることはできず、既に銀行の流動性を向上させるための措置を講じた。現在、ドバイ政府は、国際資本が欠乏し不動産および株式市場が低迷するこの期間を乗り切るために、国有会社に対する連邦の支援を模索している。今後 2 年間で約 200 億米ドルの債務の借り換え時期が到来するため、ドバイ政府は、アブダビ政府の支援に対する依存度を高めるとされる。また、今週、合併により生まれたエミレーツ開発銀行 (Emirates Development Bank) の発表により、住宅ローン／金融セクターのさらなる統合が見込まれる。</p>

ALSO IMPORTANT---

 <p>アルジェリア</p> <p>最近、議会は、アブデルアジズ・ブーテフリカ大統領から提案された憲法改正を承認した。改正の内容には、現在2年間の大統領任期の撤廃、政府の首長ポストの廃止、首相の新設、2人の副首相の任命が含まれている。ブーテフリカ大統領の権力維持を強化するための新たな手段が導入され、来年4月に予定されている選挙においてさらに5年間の任期の再任を目指すと思われる。この権力集中には欠点も伴う。1つの懸念は、ブーテフリカ大統領の健康問題である。しかし、アルジェリアは、西欧諸国にとって石油・ガスの大手供給国の1つであるため、あからさまな国際的な非難は起きないであろう。</p>	 <p>マダガスカル</p> <p>ある韓国企業は、マダガスカルの土地の長期リースに関して現地当局と交渉中である。この提案は、韓国が食糧安保の観点から、130 万ヘクタールの森林をトモロコシおよびパーム油の農地へ転用することを目指すものである。マダガスカルは、道路、灌漑、および貯蔵施設へのインフラ投資、それに伴う雇用創出の恩恵を受けるであろう。比較的貧しい国々から作物を出荷すること(マダガスカルは国際的な食物支援を受けている)に関しては社会的・政治的リスクも伴うが、アジアおよび中東諸国が海外に食料の供給源を求める先駆けとなることが期待される。</p>
--	--

COUNTRY REVIEW SUMMARIES

 <p>中国</p> <p>投資の増大(特に建設)を抑えるこれまでの政策の影響に加え、輸出の伸びが予測より大きな打撃を受けている中で、当局は、成長の急激な鈍化に対する懸念の高まりに積極的に対応し続けている。今日、利子率は108bps 引き下げられ(9 月半ば以降で最大の 4 回目の引き下げ)、準備高の要件もさらに緩和された。これは、貸出割り当ての早期終了と相まって、既に発表されている財政支出の増加につながるであろう。世界銀行が最近発表した四半期レポートでは、2009 年の GDP 成長率の予測は 7.5%へ、実質輸出増加率はわずか 3.5%へ引き下げられており、それぞれ 1998 年および 2001 年のレベルを下回っている。さらなる景気刺激策が期待される。</p>	 <p>ルトアニア</p> <p>外国為替に関連したクレジットの急増により過熱した国内需要は、インフレ率を2桁に押し上げ、経常収支の赤字をGDPの14.4%へ拡大させ、対外債務をGDPの約100%へ増大させ、外貨準備高に関しては2009年に支払期限が到来する対外債務の20%を下回るほど減少させた。これまでのところ、スカンジナビアの金融機関が牛耳る銀行業界は堅調であり、固定相場制は安定であるように見える。しかし、民間セクターのクレジットの成長率は、2008年半ばで前年比35%と、維持できないほど高く、世界的な金融危機が深まる中で急落は避けられないであろう。2009年には景気後退が予測される。</p>
---	---

IN BRIEF

<p>ラトビア パキスタン</p>	<p>当局は、IMF および EU との協議に入った。必要であれば支援が受けられる可能性が高い。今週、IMF は、23 ヶ月の 76 億米ドルの支援を承認した。31 億米ドルは即時に提供される。</p>
-------------------------------------	---

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.